

令和3年度 北見地区バドミントン協会主催大会

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

(2021/8/26 版)

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会が作成したガイドラインに準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 感染防止の基本的対策

- (1) 状況により入場制限(無観客試合)を行う。会場への出入りは試合当日に出場する選手及びマネージャー、監督(顧問)およびコーチ、役員、審判のみとする。
※マネージャーについては、監督(顧問)判断による。
- (2) 大会当日体調不良、発熱(37.5度以上)や感冒症状で受診や服薬等をしたまたはPCR検査を受ける予定と検査結果がでていない選手、顧問は参加させない。
受付時に健康状態確認シートを(自宅で検温)提出させる。
- (3) 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。(靴袋を持参すること)
- (4) 試合が終了した選手は、監督(顧問)等と相談の上、速やかに帰宅する。
- (5) 会場内においては、競技時以外の時間帯はマスクを着用する。(咳エチケット)
- (6) 適宜手洗いにより予防に努める。
- (7) 会場出入口にはアルコール消毒薬等を設置する。
- (8) 共用物品は定期的に消毒を行う。
- (9) ゴミは全て各自で持ち帰り処分する。

3. 競技運営上の具体的対策(運営側)

- (1) 状況により、開閉会式は中止とする。(競技説明等は関係書類を配付する。または放送で行う。)
- (2) 状況により、競技(試合)時間を短縮する。
例→①試合前練習時間のカット、インターバルのカット及び時間短縮
②ポイント制限、等
- (3) 学校対抗団体戦実施において配慮する場合の対応策。
(ベンチでの密接場面を極力減らす目的)
例→①ベンチ椅子の設置については、会場の広さに余裕がある場合は椅子と椅子の間隔を空ける。

②試合がある当該選手及び監督・コーチ以外は、ベンチに入らず、観客席で応援する
(コーチングシート以外、ベンチ(椅子)を設置しない等)

※試合時間に近づいたら、ベンチへ移動する。

(4) 線審および得点係生徒(補助生徒の手配に配慮する場合の対応策。)

例→線審は対抗戦同士で行う

※可能であれば、補助生徒は配置しない

※線審および得点係はマスクを着用する(主審含む)

(5) コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バック等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバックに保管する。

(6) 主審のコールは必要最小限とする。得点板がある場合は、コールしない。

(7) 試合後の審判用具(筆記用具・ボード・カゴ)の消毒を必ず行う。

(8) 換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。

●大会スタッフおよび競技運営者は、感染拡大防止の観点から参加人数や会場スペース等、実情に合わせて上記具体的対策を参考に十分な協議の上、大会運営を進めること。

4. 競技上の具体的対策(選手側)

(1) シャトルの交換は、選手がシャトルを直接取り出すか、選手が一定の距離に来たら投げ渡す。シャトルの交換時は選手が回収ボックス(カゴ等)に入れる。

(2) 応援する場合は、声を出さない。拍手をもって場所を移動しないで応援する。

(3) 試合開始時と終了時の選手同士および選手と主審との握手や試合中の選手同士のハイタッチ等の接触は控える。

(4) 会場の出入りについては設置してあるアルコール消毒薬等で消毒を行うこと。

5. 当日の緊急時対応について

(1) 当日、急に体調不良や発熱等の症状が出た場合は、監督(顧問)は該当選手と相談の上、速やかに帰宅させる。(保護者への連絡)

(2) 監督(顧問)は、他の選手への健康観察を徹底する。